



社協が行う 権利擁護・成年後見

権利擁護相談
日常生活自立支援事業
法人後見の現場から



社会福祉法人
横浜市社会福祉協議会
横浜生活あんしんセンター

10年間でこんなケースにかかわりました

目次

■ 用語説明	6
■ 日常生活自立支援事業	
1 金銭管理経験のない高齢者との契約（契約保留→契約承認）	10
2 同居の親族から金銭搾取を受けている高齢者との契約（条件付契約承認）	12
3 依存症の方との契約（契約不承認）	14
4 不安を抱えている精神障がい者との契約（契約保留→契約承認）	16
5 母親と同居している知的障がい者との契約（契約承認）	18
6 未成年の子どもへの支援も必要な知的障がい者との契約 （契約保留→契約承認）	20
7 リフォーム業者から財産侵害を受けている高齢者との契約	22
8 成年後見移行まで時間を要したケース	24
9 成年後見移行まで短期間だったケース	26
10 自筆遺言書の預かりと相続財産管理人選任	28
11 契約者死亡後の相続人調査と保管物件の引き渡し	30
12 区社協が遺言執行人に指定されていたケース	32
■ 成年後見事業	
13 在宅で暮らす認知症高齢者への支援①	34
14 在宅で暮らす認知症高齢者への支援②	36
15 在宅で暮らす知的障がい者の姉弟への支援	38
16 後見人が就任するまで住宅解約ができなかったケース	40
17 成年後見制度施行前の対応と親族との複数後見申立て	42
18 代理権が付与されていない被保佐人への支援	44
19 相続手続きが必要な知的障がい者への支援	46
20 後見類型変更申立てと申立てに反対する家族との調整	48
21 日常生活自立支援事業から任意後見制度へ移行したケース	50
22 被任意後見人死亡と家族への相続手続き支援	52
23 任意後見契約と見守り契約の締結	54
24 遺産分割手続きと家庭裁判所との調整	56
25 被後見人の緊急時の対応と関係者との連携	58
■ 専門相談	
26 高齢者への金銭搾取と結婚詐欺	62
27 ペット業者とのトラブル	63
28 認知症高齢者への損害賠償請求	64
29 他界した息子の遺産相続手続き	65
30 職場解雇の不安を抱える障がい者からの相談	66
31 養子縁組の解消について	67
■ 資料編	70

1 金銭管理経験のない高齢者との契約

(契約保留→契約承認)

本人状況：80歳代 男性

福祉サービス：なし

財産状況：預貯金80万円

法外援護のパン券と宿泊券を区役所にて受取る

住環境：簡易宿泊所

親族状況：離婚歴あり 子どもなし 親族（疎遠）

相談経路：保護担当ケースワーカー

相談内容

これまで日本全国を転々とし、半年ほど前から横浜に住み始めた。生活保護受給のための調査をしたところ、以前入所していた施設が作った80万円の入った通帳があり、また、年金受給権があることも分かり、生活保護廃止となった（本人はこの事を把握していなかった）。通帳に使用していた印鑑がなく、また本人に出納の経験がなく金銭が上手く扱えないことも危惧され、現在も区役所にて法外援護として毎日パン券と宿泊券を受取って生活している。

いつまでも法外援護を受け続けるわけにもいかず、本人が自分の貯金で生活できるよう区社協あんしんセンターの利用を希望している。

課題

- ①今までの生活歴から識字力や社会経験が不足している人の契約能力について、どのように判断するのか。
- ②放浪癖がある方に対してサービスを定期的に提供し続けるためには、どのように関わっていったら良いのか。